

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則る情報公開

2024年3月26日

現在、浅井病院では、てんかんと統合失調症に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2029年3月31日までの診療情報などを利用いたします。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

【研究課題名】「てんかんと統合失調症の双方向性に関する研究」

【研究の意義・目的】 統合失調症の患者さんには時にてんかん発作がみられることがあり、てんかんの患者さんの一部にも精神病症状が出現することがあります。一方、電気けいれん療法などにより精神病症状がけいれん発作のあとに改善することはよく知られています。逆に頻繁にあったてんかん発作が止まったあと、入れ替わりに精神症状が出現することもあります。このように、統合失調症などの精神病とてんかんにはお互いに何らかの関連(双方向性の関連)があるのではないかと考えられていますが、まだわかっていないことが数多くあります。統合失調症の患者さんに生じるてんかん様の発作、またてんかんの患者さんに生じる精神症状と、それに関連した要素について調査研究を行うことで、両者の双方向性についての理解を深め、最終的には両疾患の病気の原因や、有効な治療法の解明に役立つことが期待されます。

【研究の方法】 てんかん、あるいは統合失調症をもつ患者さんの発作症状、精神症状、投薬内容、脳波などの検査所見などについて、これまでのカルテを調査します。研究のために特別に行う治療や検査はありません。

【個人情報の取り扱いについて】 本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部にもれることのないように厳重に管理します。研究成果は、関連学会・研究会および学術雑誌上で公表されることがありますが、患者さんの氏名などは一切公表されません。

【研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について】 ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関：浅井病院

本件のお問合せ先：精神科医師 原 広一郎

電話 0475-58-5000